

会 報

# 鳥 取

第 9 号

2003年8月



福岡堤より大山を望む（逆さ大山） 提供 岸本町役場

目 次

あいさつ .....	1	健康シリーズ⑧ .....	9~10
平成14年度通常理事総会・総会開催 ...	2	シルバー人材センターの紹介 .....	11
平成14年度事業実施状況 .....	2~4	会員の広場 .....	12
平成15年度事業計画 .....	5~6	講習会に参加して .....	12~14
平成15年度事業実施状況 .....	6~8	新加入団体・新規設立団体の紹介 .....	15
		新しい理事さん及び 監事さんの紹介等 .....	16

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

あじわい



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会  
副会長 歳 岡 輝 巳

連合会総会に於いて第二期理事に選任され、引継いで理事会で副会長に就任、その重責に身が引き締まる思いを致しております。

ところでシルバー人材センターの自立について申し述べます。「自主、自立、共働、共助」これが我々の至上明確な政策理念であり、最近政治の上で「自主」とか「自立」の表現が使用されておりますが、シルバー人材センターは二十有余年前の創立当初から目的の理念としてすでに周知徹底しております。

高齢社会の現在互に助けあう精神で、不況の続く今日を乗りきらなければなりません。県連合会の中・長期基本計画を策定いたしました、今後この計画を基本に運営していかなければならないと思っております。

重点目標として

- 一 高齢者就業を支持する「地域拠点」としての役割強化。
- 二 地域社会の維持、発展に貢献する「地域拠点」としての役割強化。
- 三 事業運営の充実と組織体制の強化。

この方向性に向かって県連合会として、会員の協力により成果が上がることを願うものであります。

そしてこれからの高齢者でどんな社会になるか、注目せねばならないと思います。

厚生労働省の平成十四年版の「高齢社会白書」を見ますと、在宅の六十五才から七十四才の要介護、もしくは、寝たきりの人は約二百人に一人しかおらず、七十五才以上の約六分の一であり、その分布の中で就労の意欲は五人に一人以上が希望している。知能と高齢

また県内各活動拠点の中で特に重要な点は「安全適正就業」であります。就業中あるいは途上での事故を防止する努力はもちろんであります。就業が会員各個々に適したものであるか、万一事故が起こった場合、就業が適正であったのか等、安全適正就業については、いろいろな問題があり今後適正就業への是正策を講じる等大きな検討課題を残しております。

今後市町村合併に伴うシルバー人材センターの「再編」が円滑に進められるよう指導するなど連合会の責務も多くありますが、行政関係のご指導と援助をお願い、更に県民の皆様のご支援をお願いし、あいさついたします。

によって記憶や、スピード面で、おとろえるが洞察力を必要とする知能、英知、技能は六十才になっても発達し続けるといわれております。一方で六十五才以上の高齢者の身体はマイナス面が年々増加している、つまり今後超長寿社会の生きがいのポイントが高齢者が、知能、体力、経済力を生かしてワークシェアリングを活用し「自立」した活動が出来るかと言うことを強く感じます。





## 平成十四年度 通常理事会・総会開催

### 理事会

平成十四年度第二回目の通常理事会を二月二十七日米子国際ホテルに於いて、会長以下十三名の出席のもとに開催しました。

当日審議された議案は次のとおりで、いずれも原案どおり承認されました。

第一号議案 平成十五年度事業計画(案)

について

第二号議案 平成十五年度収支予算書(案)

について

その他

### 通常総会

平成十四年度第二回通常総会を三月二十七日通常理事会に引き続き米子国際ホテルに於いて開催しました。

総会には、正会員二十三シルバー人材センター中、十九シルバー人材センターの出席のもと、来賓として鳥取労働局尾高高齢者対策担当官の出席をいただき、議長に(社)智頭町シルバー人材センター理事長の石谷文一氏を選出し議案の審議を行いました。



全て、原案どおり承認されました。

第一号議案 平成十四年度事業計画(追加案)について

案について

第二号議案 平成十四年度収支補正予算書(案)について

案について

第三号議案 平成十五年度事業計画(案)について

について

第四号議案 平成十五年度収支予算書(案)

について

その他



## 平成十四年度 事業実施状況

### 経験交流大会の開催

平成十五年一月二十二日(水)午前十時三十分から「倉吉シティホテル」に於いて、平成十四年度経験交流大会を開催しました。



県内各シルバー人材センターの役員・会員、又各市町村の担当者の方々総勢百三十名余りの出席のもと来賓に、地元倉吉市の長谷川市長、鳥取労働局から尾高高齢者対策担当官又、鳥取県から商工労働部労働雇用課中西雇用政策室長をお迎えし、盛大に開催することができました。

講師には、(社)東広島市シルバー人材センター理事長植田是賢氏の「これからのシル

バー人材センターのあり方について」と題して基調講演の後(社)岡山市シルバー人材センター梶谷義則事務局次長・地元(社)米子広域シルバー人材センター宇野治巳事務局長の事例発表があり、その後質疑応答、意見交換を行い盛会のうちに閉会しました。

### 福祉・家事援助サービス 推進事業職員研修会

平成十五年二月二十八日(金)倉吉市において、各拠点シルバー人材センターの福祉・家事援助サービス事業の担当理事並びに担当職員・会員等三十七名が参加して開催されました。

講師に(社)広島県府中町シルバー人材センターの山代佳世氏から「福祉・家事援助サービス事業の現状と今後の方向性」の基調講演をいただき、その後、(社)倉吉市シルバー人材センター川田事務局長の概略の事例発表又、同センターの福祉・家事援助サービス班長の前場節子氏から実際に携わった経験から発表をいただき、(社)米子広域シルバー人材センター職員の国本美代子氏から全シ協の研修会の発表があり、最後に意見交換、質疑応答に入り、活発な意見交換を行い今後のこの分野の事業運営に有意義な研修会となりました。



### 第二回就業機会開発推進委員会開催

平成十四年度第二回の就業機会開発推進委員会を二月二十日倉吉市に於いて、連合推進委員十二名の出席のもとに開催しました。

会議では、平成十四年度の総括を行い、今後の連合としての取組み方などについて話し合われました。

### 第二回安全就業推進委員会開催

今年度第二回の安全就業推進委員会を三月十四日推進委員十三名が出席し第二回の安全就業推進委員会を開催しました。

会議では、連合の平成十四年度実施状況、各拠点の取り組み状況などを協議し、平成十五年度に向けた実施計画等を協議しました。



# 平成十四年度シニアワークプログラム事業実施結果

シニアワークプログラム事業は、厚生労働省から委託を受け、高齢者の雇用就業機会の確保を促進することを目的に、事業主団体等の参画のもと、技能講習や介護講習を実施するものであります。

平成14年度は技能講習11回、介護講習では3級課程を3回、2級課程を3回実施しました。

## 技能講習第1種

講習名	開催地区	実施期間	講習日数	申込者	受講者	修了者
パソコン（中級）	倉吉会場	06.17～06.21	5日	20名	20名	20名
オフィスクリーニング	米子会場	09.09～09.13	5日	27名	24名	23名
左官・ブロック積	鳥取会場	09.30～10.08	6日	12名	11名	9名
パソコン（初級）	境港会場	10.15～10.19	5日	20名	19名	19名
オフィスクリーニング	鳥取会場	10.21～10.25	5日	22名	16名	16名
接客サービス	鳥取会場	11.11～11.15	5日	18名	17名	15名
接客サービス	米子会場	11.18～11.22	5日	22名	20名	19名
パソコン（初級）	鳥取会場	12.02～12.06	5日	41名	20名	20名
観光ガイド養成	倉吉会場	12.04～12.10	5日	16名	15名	14名
パソコン（初級）	米子会場	01.20～01.24	5日	62名	25名	25名
接客サービス	倉吉会場	01.27～01.31	5日	17名	15名	14名

## 介護講習第1種「3級課程」

講習名	開催地区	実施期間	講習日数	申込者	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	鳥取会場	06.11～06.28	10日	22名	17名	16名
	米子会場	07.15～08.01	10日	44名	20名	20名
	倉吉会場	09.24～10.11	10日	28名	20名	20名

## 介護講習第1種「2級課程」

講習名	開催地区	実施期間	講習日数	申込者	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	鳥取会場	08.21～09.27	19日	23名	22名	22名
	境港会場	10.01～11.07	20日	17名	15名	14名
	米子会場	11.01～12.09	20日	25名	20名	18名



パソコン講習風景



介護講習風景

## 平成十五年度事業計画

### 基本計画

シルバー人材センターは、就業機会の開発とともに高齢者に対する臨時的、短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業機会を組織的に提供することが一層必要となっている。当連合会は基盤の一層の強化、確立をはかり、高齢者が「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、広く県内一円において就業の機会が得られるよう「補助事業」「シニアワークプログラム事業」に積極的に取り組む。

### 事業実施計画

#### 一 安全・適正就業推進事業

高齢者が自主的に働くことができるよう、組織をあげて健康の管理、安全の確保を推進しなければならない。

- ① 安全就業推進委員会の開催（年二回）  
シルバー連合全域の安全就業推進計画策定する。
- ② 安全パトロール指導員の配置  
拠点センターのパトロール及び相談
- ③ 安全就業研修会の開催  
各拠点センターの職員、推進員等の研修会の開催

#### 二 普及啓発事業

④ 適正就業の徹底  
シルバー人材センター事業に対する理解と参加を得るため、あらゆる機会をとらえ普及啓発活動を行う。

- ① 連合会機関誌の発行  
連合会の諸行事、本県シルバー人材センター事業の特色ある記事を掲載し広く情報を提供する。
- ② シルバー祭の開催  
「いきいき健康福祉まつり」に参加し、地域住民とふれ合い、事業の浸透を図る。
- ③ リーフレットの作成・配付
- ④ 新聞等への普及啓発の積極的活用

#### 三 就業開拓等事業の推進

受注可能な仕事の開拓及び新しい就業分野の開発・拡大を図る。

- ① 就業機会開発推進委員会開催（年二回）  
就業開拓推進計画を策定し、目標の設定、具体的方策を立案する。
- ② 就業開拓推進員の配置  
就業機会の確保、新たな就業分野の開拓
- ③ 広域的な需給調整  
会員の就業ニーズと受注した仕事を的確にマッチさせるため、広域的な需給調整を図る。
- ④ ホワイトカラー就業機会の開催  
ホワイトカラー職種に係る仕事の確保・提供

#### 四 交流研修事業

事業に携わる役職員及び会員を対象として研修会を開催する。

- ① 役職員研修会  
事業の基本理念を十分理解し、運営上の課題や問題点についての確に対応できる行動力を養う。（島根県と合同で開催）
- ② 経験交流大会  
各センター間の共通認識を培い、センター事業内容の理解を得るため、県下全センター及び全市町村の担当者を対象として開催する。
- ③ 連合役職員研修  
連合会の役職員及び拠点センターのリーダー的職員が全シ協等主催の研修会に参加し、専門的知識を取得する。

#### 五 無料職業紹介事業

臨時的かつ短期的及び軽易な業務について雇用就業を希望する高齢者に対して無料の職業紹介を行う。

#### 六 福祉・家事援助事業

今後益々シルバー事業の重要な分野となることが期待されるこの事業に於いて情報の提供、指導、助言を行う。

- ① 研修会の開催  
拠点センターのコーディネーター及び関係職員の研修会を実施する。

② 普及啓発  
リーフレットを作成、配付して広く県民に周知を図る

**七 指導相談事業**

全シ協や他のシルバー連合等とも情報交換を行い、有用なノウハウを提供する。定期的又は随時に巡回指導を実施して適切に対応する。

**八 センター設置促進事業**

県の協力のもと、未設置の町村に対して意見調整を行い、組織化の促進を推進する。

- ① 未設置町村への訪問
- ② 設置促進会議の開催

**九 地域高齢者社会参加促進事業**

高齢者が、その意欲や能力に応じて最も適切な参加形態を選択して積極的に社会参加できるよう相談窓口（社会参加支援コーナー）を設置し、社会参加活動の視野を広げ、活力ある高齢社会の実現を目指す。

実施シルバー

- (社) 鳥取市シルバー人材センター
- (社) 米子広域シルバー人材センター

**十 高齢者生活援助サービス事業**

従来から実施していた介護サービス事業に替わる事業として、次のセンターで実施する。

- (社) 鳥取市シルバー人材センター
- (社) 米子広域シルバー人材センター
- (社) 倉吉市シルバー人材センター

**十一 高齢者活用子育て支援事業**

就学前の幼児に対する保育施設からの送迎、世話などの育児支援や、就学児童に対する放課後・土曜学習、生活指導の学習支援等を行う。

実施シルバー

- (社) 鳥取市シルバー人材センター
- (社) 倉吉市シルバー人材センター

**十二 シニアワークショップ事業**

国の委託事業として、高齢求職者等を対象に雇用を前提とした技能講習・介護講習を実施する。

- 第一種技能講習 十回
- 第一種介護講習 七回



**平成十五年事業実施状況**

**第一回通常理事会開催**

平成十五年第一回通常理事会を五月二十六日(月)「ホープスターとっとり」に於いて開催しました。

理事十三名の出席のもと会長を議長として議事の審議に入りました。

付議された議案は次のとおりで、いずれも原案どおり承認され、役員改選では、役員候補者選考委員八名も選出されました。

- 第一号議案 定款の一部変更について
- 第二号議案 平成十四年度事業報告及び収支決算報告について
- 第三号議案 平成十五年事業計画(変更)案について
- 第四号議案 平成十五年度収支補正予算書(案)について
- 第五号議案 役員改選について(役員候補者選考委員の選出)
- その他

**第一回通常総会開催**

平成十五年六月十三日(金)「倉吉シティホテル」に於いて、平成十五年第一回通常総会を開催しました。

当日は、只野祐鳥取労働局長、鳥取県中部





**連合事務局長会議開催**

平成十五年度第一回の鳥取県シルバー人材センター連合の事務局長会議を六月十一日（水）ホープスターとつとりにおいて開催し、連合の平成十四年度事業の実施状況並びに平成十五年度の事業計画について協議し、平成十五年度第一回都道府県連合事務局長会議の内容等を説明し、最後に長期就業の問題、団体傷害保険の問題等について協議し閉会しました。

**第一回就業機会開発推進委員会開催**

平成十五年度第一回就業機会開発推進委員会を六月二十四日倉吉市において、連合の推進員十四名が出席し開催しました。

議題は、次とおりで連合における平成十五年度の推進計画等を協議しました。

- 一 平成十四年度の実施状況について
  - 二 各拠点における取り組みについて
  - 三 平成十五年度の実施計画について
  - 四 「シルバーの日」の取り組みについて
- その他

**第一回安全就業推進委員会開催**

平成十五年度第一回の安全就業推進委員会を七月十八日（金）倉吉市に於いて開催しました。議題は平成十四年度実施結果について反省し、又最近の損害賠償請求事件について協議し、平成十五年度の安全就業推進実施計画を審議しました。

県民局から大東県民課長のご臨席を賜り、各連合会の会員シルバー人材センターから理事長、事務局長等二十五名の出席のもと、川口会長の挨拶、来賓の祝辞の後、議長に川口会長を選出し議事の審議に入りました。

審議された議案は次のとおりで、いずれも原案どおり承認されました。

議案の最後には、新役員（理事十四名・監事二名）が選任され新しい役員体制が決定されました。

第二号議案 定款の一部変更について

第二号議案 平成十四年度事業報告及び平成十四年度収支決算報告について

第二号議案 平成十五年事業計画（変更）案について

第四号議案 平成十五年度収支補正予算書（案）について

第五号議案 役員改選について

その他



## 平成15年度シニアワークプログラム事業（第1種）実施計画

平成15年度シニアワークプログラム（SP）事業の第一種技能・介護講習を6月より順次開催する計画です。

### 技能講習

講習名	開催地区	実施（予定）月日	日数	定員	受講者	修了者
観光ガイド養成	倉吉会場	06.18～06.26	7日	20名	24名	21名
植栽管理	米子会場	06.23～07.01	7日	20名	20名	17名
パソコン（初級）	鳥取会場	07.07～07.11	5日	20名	20名	20名
パソコン（中級）	倉吉会場	07.23～07.31	7日	20名	20名	19名
パソコン（初級）	境港会場	08.04～08.08	5日	20名		
塗装	倉吉会場	09.01～09.05	5日	20名		
接客サービス	米子会場	09.08～09.12	5日	20名		
パソコン（中級）	鳥取会場	10.02～10.10	7日	20名		
オフィスクリーニング	米子会場	10.20～10.24	5日	20名		
オフィスクリーニング	鳥取会場	11.10～11.14	5日	20名		

### 介護講習

講習名	開催地区	実施（予定）月日	日数	定員	受講者	修了者
訪問介護員養成講座 3級課程	鳥取会場	06.10～06.27	10日	20名	15名	13名
	米子会場	07.09～07.29	10日	20名	20名	19名
	境港会場	10.08～10.28	10日	20名		
訪問介護員養成講座 2級課程	智頭会場	06.17～07.23	20日	20名	18名	17名
	鳥取会場	08.19～09.26	20日	20名		
	倉吉会場	10.01～11.07	20日	20名		
	米子会場	11.06～12.12	20日	20名		



パソコン講習



介護講習

## 健康シリーズ⑧

### 糖尿病について



徳盛豊

代謝内分泌内科部長

労働福祉事業団  
山陰労災病院

#### 【はじめに】

糖尿病というと「尿に糖がでる病気」と考えられがちですが、これは糖尿病の一つの症状に過ぎません。重要なのは、血糖中の糖分（高血糖）が続くということが本態です。尿に糖が出ていても糖尿病でない人もありますし、尿糖が出ていなくても糖尿病の人は数多くいます。高血糖は、膵臓から出されるインスリンというホルモンの働きが低下して起ります。糖尿病が発症する原因として、根本的には遺伝が関係しているといわれており、遺伝的要因に、暴飲暴食、運動不足、肥満などの生活習慣要因や、ストレスなどの環境要因が加わり、インスリンの働きが低下し、糖尿病が発症すると考えられています。甘い物を食べ過ぎたからとか、肥満だけのために発症するのではなく、あくまでも遺伝的要因が基礎にあるわけです。

#### 【症状】

糖尿病の症状は軽いうちは殆ど無症状の場合が多く、ある程度進行してからはじめて、口渇、多飲、多尿、夜間尿、やせなどの自覚症状があらわれます。そのために、糖尿病と診断されても放置している人が非常に多いのが現状です。

#### 【診断】

糖尿病の診断は、尿糖が出ているか出ていないかではなく、高血糖の状態があるかどうかで決まります。軽い糖尿病では尿糖が出ていない場合も多く、健診では、血糖が高くなり、尿糖が出やすい食後の検査が行われます。

#### 【治療】

糖尿病と診断されれば体調が何ら悪くなくても治療が必要となります。高血糖状態が続けば、二〜三年のうちに合併症が起ってくるといわれ、この合併症こそが糖尿病患者さんの寿命に大きく関係してくるわけです。

#### 【合併症】

高血糖状態が続けば、全身の血管障害が生じてきます。糖尿病では、とくに細い血管の

障害が起こり、昔から三つの大きな合併症が知られています。

一つ目は、網膜症といわれ、眼底出血、最悪の場合、失明状態となります。年間三千名の人が失明されていますが、糖尿病網膜症が第一位の原因となっています。

二つ目は神経障害で、手先、足先のしびれ、痛み、違和感が代表的な症状ですが、その他に、便秘、下痢、発汗異常、起立性低血圧、膀胱機能障害、性力減退といった自立神経障害や、顔面神経麻痺、突発性難聴、味覚・嗅覚障害などの脳神経障害が起こることもあります。

三つ目は腎症で、蛋白尿が持続し、手足のむくみ、胸水、腹水が生じ、最終的には腎不全（尿毒症）の状態となり人工透析が必要となります。

これらが糖尿病に特徴的な合併症ですが、脈硬化症のために、脳卒中、心筋梗塞、足の壊疽などが非常に起こりやすくなっています。

むしろ、この大きな血管の合併症が糖尿病患者さんの寿命を大きく左右しているわけです。その他、非常に血糖値が高くなると脱水を生じ、昏睡状態となることもあり、又、風邪を引きやすく、治りにくいか、傷が化膿しやすいといった感染症もよく合併します（図参照）。糖尿病そのものを治しきる方法は現在の医療では困難であり、いかに合併症を



予防するかが現在の治療法の中心になっていきます。

**【治療法】**

糖尿病の本能が高血糖の状態にあることから、当然、血糖値を下げる治療が中心となっています。治療法は以下の3本柱からなっています。

一つ目は食事療法で、一日に食べる量を決めてしまい、必要以上に血糖値が上がらないようにします。

二つ目は運動療法で、筋肉を動かすことにより血糖を消費することで血糖値を下げます。

三つ目は薬物療法で、食事療法、運動療法で十分に血糖値が下がらない場合、飲み薬又はインスリン注射することで血糖値を下げます。

いずれにせよ、血糖をコントロールし、合併症を予防しておけば健康な人と全くかわることのない日常生活が送れるわけです。

本文が、糖尿病発症の予防に、又、現在治療中の糖尿病患者さんに、少しでもお役に立てれば幸いです。

**糖尿病の合併症**

**糖尿病**

**糖尿病昏睡**

高血糖性高浸透圧昏睡  
ケトアシトシス昏睡



**大血管障害  
(動脈硬化)**



**細小血管障害**



腎臓 (腎症)



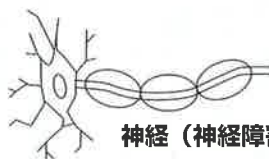
脳 (脳卒中)



心臓 (心筋梗塞)



眼 (網膜症)



神経 (神経障害)



足 (壊疽)

# シルバー人材センターの紹介

## 北条町シルバー人材センター

信頼されるシルバーをめざして

事務局長 岩本 仙子

平成十四年四月、北条町社会福祉協議会に勤務し、シルバー人材センター事務局も併せて引き受けて一年余り。

昨年は、設立十周年の年でした。会員も百名を超え、就業件数、請負金額とも年々増加し、高齢者の経験と技能でそれぞれの仕事に責任をもって、発注者からの信頼を大切に些細な仕事でも笑顔で対応される会員さんに接し、改めて、地域に密着したシルバー人材センターを誇りに思います。

健康福祉フェアにおける刃物研ぎ等の感謝行事も定着し、PRの一環となっております。



昨年から中学校一年生の総合学習に農業指導者として、田植え、稲刈り、餅つき、わらぞうり作りと何人もの会員がボランティアで協力していただき、地域とのつながりを深くすることができました。



安全就業月間には、理事が作業現場を見廻ったこと、新規会員説明会を開いたこと、しめ縄作り講習会を中央公民館と共催し、異世代の交流が図られたことなど新しい試みも行いました。

仕事を終え、発注者からの感謝の言葉は、何ものにも変えがたく、会員さんとともに充実した日々を送りたいと願っています。

## 中山町シルバー人材センター

高齢者の生きがいと

仲間づくりをめざして

畑 武治

中山町は、鳥取県西部に位置し、県庁所在地の鳥取市まで六十六キロ、米子市まで二十八キロの地点にある農業中心の町です。人口は、昭和二十五年には、八千五百五人でしたが、都市部への流出により現在では、五千三百二十八人まで減少しました。

年齢構成も、六十五才以上が千五百十人となり高齢化率は、二十八、三パーセントになっています。

中山町シルバー人材センターは、平成四年七月にミニシルバー人材センターとして会員数五十名で設立をしました。



設立当初は、米子技能開発センター・米子広域シルバー人材センター等に襖張り・障子張り・剪定の技術講習に会員さんが勉強にいかれました。

シルバー人材センター一年目の、配分金総額は三百万程度でしたが、今年度は、一千五百万程度まで増えてきました。

この間、シルバー人材センター連合会の補助事業で配置していただいた就業開拓専門員の働きも大きかったと思います。

中山町シルバー人材センターは、社会福祉協議会の事務所内にあり、高齢者の各種活動と深くかわっています。

社会福祉協議会がめざす明るい長寿社会とシルバー人材センターがめざす生きがいと仲間づくりとは本質は同じであると考えます。

老いが耀き老いが主役のまちづくりに、シルバー人材センターの役割は益々重要性を増すと思います。今後とも会員相互の親睦と楽しい就労をめざして努力していきますので、よろしくお願いいたします。





## 会員の広場

### ボランティア精神で仕事を



西古 一男

淀江町シルバー  
人材センター

会員になって三年になります。最初の半年間は就業機会開拓専門員として、シルバー人材センターの仕事内容を理解して頂くことを重点に営業活動をしました。たまに、その時に発注を頂く事もありました。

二年目からは、障子・襖・網戸の張替えの仕事をすることになりました。室内作業が主でお客様の家に入りにすることが多くなりました。特に独居老人の家にいくと家の中は散乱していました。重いもの、不要なものが多く始末に困っている老人の多いことが分かりました。仕事で家に行くと必ず一言「障子・襖が綺麗になりました。ついでに少し片付けましょうか」というと大変喜ばれます。したくても出来なかった老人の思いが良く分かり自分自信も老人の喜びに共感しました。ただ仕事を終えて終わりでなく色々なアドバイス・コミュニケーションをとることで、次の仕事はご指名で来るようになりました。一寸の気遣い、思いやりがどんな営業活動より優れ

ていることが分かりました。これからもボランティア精神で仕事をしたいと思えます。

### 子供達と共に



竹田 良子

(社) 米子広域シルバー  
人材センター

米子広域シルバー人材センターに「おさらい教室」という職能班が出来て十年にもなる。児童・生徒数も次第に増加してきた。

夕方五時から約二時間、学校で習ったことを「おさらい」をする教室である。

理解できなかったところを教え、つまずいているところを納得のいくまで話しあつて学習を進めていく教室でもある。

少人数制なので、和気藹々と何でも話せるし質問ができる。休憩になると、友達同志で自分の学級の紹介をしたり、私の周りに集まって、他愛無い話が始まる。「先生何才ですか。」「うちのおばあちゃんは七十才だよ。」「せんせい！白髪が見えだしたよ。」「きのうのテスト九十点だったよ。」「野球のクラブに入ったらピッチャーになったよ。」「色々な話題が次々と出てくる。目を輝かせ夢中で話してくれる。本当に可愛い子供達だ。

子供達から、若くはつらつとした氣をもらいな

がら、少しでも役に立つ先生でありたいし、いつまでも慕われる先生でありたい。何年前に卒業して行った子供から、近況の手紙をもらったり、町で「先生！お元気ですか。」と声をかけられ、大きく成長した姿をみて感動し、先生の冥利この上なく思う。そして元氣をもらう。この仕事を続けることで身心の若返りになるのかな。

私の生きがいのある大切な仕事でもあると思うこのごろである。

## 講習会に参加して

### 介護講習会を受講して



岩井 祥子

〈鳥取会場〉  
鳥取市

今から四〇年前、私の母は高血圧いわゆる痛風で寝たきりになり、この世を去りました。

当時は今の様な紙おむつもなく、浴衣をほどこいておむつにし、下にただナイロンを引いただけで寝させておりました。母の痛みも悲しみも、何もわかつてあげられず、ずっと心の隅に悔いが残り、退職したら介護の知識を学ぼうと前々から思っていたのがやっと実現し、今回受講する事ができました。

今回学んだ事は、ヘルパーの仕事とは身体介護と生活援助である。人それぞれの生き方があり、物の考え方、又生活習慣がある、ここにヘルパーとしての大きな役目があるという事、又利用者との共感的理解、共に苦しみ、はげまし、どの様にして自立の方向へ持って行ってあげられるか、どの様にしたら日々の生活に生きがいを見い出せるか、ヘルパーの心の接し方一つで大きく人生が変わるといふ事も、又実技の方でおむつ交換・食事介助・車イスの使い方等、どれも初めてで緊張と不安の中で練習しました。

でも、その緊張の中に笑う場面もあり、ただ出来るようになりたいとの思いで必死でした。

おかげ様で、講師の先生方の長年の経験と豊富な知識と人間的な暖かさを学ばせて頂いて本当に感謝しております。ありがとうございました。

高齢化が進む現代、隣近所又地域全体高齢の方であろうが、若い方であろうが、「隣は何をする人ぞ」でなしに、声をかけ合い、希望のもてる社会にする為に、一人一人が生涯学習をめざし、相手を思いやる気持を持ち続けて行きたいと思えます。

## 観光ガイド養成講習を受講して



〈倉吉会場〉  
倉吉市

増田京子

受講通知をいただき、緊張した気持ちで参加しました。

講師の先生方の話にしたいに引き込まれ、笑いあり、質問ありの楽しい講義、バスで廻った現地研修は、子供の頃の遠足を思い出しました。

倉吉は伯耆の国庁が置かれ、政治、経済、文化の中心であったところから、古墳・遺跡・文化財・伝統工芸・商工業の面影を残している町並・壮麗な三徳山・三朝温泉・中国庭園の燕趙園、倉吉博物館では山下清展のすばらしい作品にも触れました。

倉吉を訪れる人を、おもてなしの心で楽しく紹介できるようになれたらと思います。

しかし「おもてなしの心」はこれからの私の課題です。

最後になりましたが、講習会のお世話をして下さった皆様に感謝します。ありがとうございました。

## 植栽管理講習を受講して



〈米子会場〉  
米子市

松原猛

園芸について少し興味があり、植栽の講習会があると話しを聞き、即お願いして受講することにしました。

七日間の日程で一日目と七日目は座学でした。一日目の座学では、植栽管理の基本、松の芽摘みと剪定、雑木の剪定、竹垣の竹の切り時期等の作業方法の講義で、七日目の座学は、植物管理で重



木の剪定、五日目は、竹垣作りの実技講習を受けました。

要な施肥と薬剤についての講義でした。最後は、まとめと質疑応答で、いろいろな質問をして教えていただきました。

二日目から四日目で成美小学校前庭での松の芽摘みと剪定、雑

造園業の三人の社長が講師で指導を受けました。講師から作業前に話があり、危険を伴う仕事、服装、足場作りの重要性が強調され指導をうけました。最初に講師が模範作業をされ、簡単に枝をきれいに剪定されたのですが、見ていて理解したつもりでも、実際に木にさばってやろうとしても、最初のうちは、枝を切るのに講師に何回も何回も聞いて剪定作業をしました。木の枝の状況が、一枝一枝異なり、考える時間が長くなり、時間がたつのが早かった。

休憩時間には、講師の技術的な話しや、職人として経験された話しを聞き大変勉強になりました。技術は体で覚えるもの「数多く剪定作業をすれば身につく」。





プロの仕事は早く、美しく、施主さんに喜んでもらえる仕事をしなくてはいけないとのことでした。又剪定した後の掃除、足場のかたづけも大事な仕事で、早くすることが重要でした。

参加者もレベルの高低がありましたが、協同作業も、応援し合い楽しく作業が出来て、多くの事を学びました。

大変有意義な講習会を受け、本当に有難うございました。

## ヘルパー二級の講習に参加して



〈智頭会場〉  
智頭町

### 小坂 育代

私は、高齢化が進むにつれて何か役に立ちたいと思いヘルパー二級に参加させて頂きました。医療、看護、介護とそれぞれの分野で、専門的な話や実話を交えて話を聞かせていただき、どの話も聞きながらも大変な仕事だと思いつつながら実習に入りました。

智頭心和苑での介護実習では、いろんな人に出会って、いろんな人達のコミュニケーションの取り方、接し方を勉強させて頂き、帰る時にいつまでもお元気でいて下さいと声をかけると涙をこぼされ、私まで胸が熱くなりました。私にとって有意義な二日間でした。

又ヘルパーさんと行かせて頂いた同行訪問は、

施設と違った面で家族のある人、ない人、それなりに勉強させてもらいました。

お年寄りが家でみてもらえることは、幸せなことだと痛感しました。

遠く離れて暮らす人には、福祉がよくなり一人でおれることはありがたいことです。

今はノーマライゼーションの時代なので、人々が幸せでなければいけないと思います。智頭町も医療、保健、福祉の総合施設を建設中です。

もしこれから先に近隣地区で私が出来ることがあつたら、お手伝いをしてあげたいと思っております。二十日間いろいろな勉強させて頂きありがとうございました。

## 介護講習を受講して



〈智頭会場〉  
智頭町

### 声 高 公 子

昨年三級ヘルパー受講を修了してから、今度は二級をと、心に思っていた事が、智頭で受けられるとの話で、迷うことなく申込みました。

講義の内容も、多種多様で、これまであまり働かしていない頭を、フル回転させての勉強に取り組みました。学生気分になりつつも、心身の疲れは、大きく感じました。

組織面では、福祉、施設について、福祉Ⅱ人間の幸福をもとめる(一人の人間として、心を大切に

にし、相手を思いやる)生きていく上で、一番大切にしたい事だと感じました。

医学面では、人体と精神面、病気の内容の説明等、とてもわかりやすく、私の頭でも理解出来る様に思います。身近にいる病人の、病気の内容等もわかり、大変役立ちました。(寝かせきりⅡ寝たきり)心に置いておきたい言葉でした。

ヘルパー業務については、(目くばり、気くばり、心くばり)が一番大切で個人個人を尊重する心を持つ事が必要だと思いました。

施設訪問二日間、ヘルパー同行一日間をやりました。(人と人との、信頼関係)いかに大切か、三日間の実践で身にしみて感じました。介護士さん、ヘルパーさんを心まちして、限られた時間一杯話される姿を見て、とても感動しました。

受講にあたり、多くの方々の御好意と、又家族の協力を得て、無事修了する事ができました。ほんとうにありがとうございました。



## 新規加入団体の紹介

### 正会員 溝口町シルバー人材センター

理事長 木村 治  
 発 足 平成15年3月6日  
 入 会 日 平成15年4月1日  
 会 員 数 53名 (平成15年6月末現在)  
 事 務 所 日野郡溝口町二部2825番地  
 電 話 0859-63-0495

### 賛助会員 溝口町

町 長 住田 圭成  
 入 会 日 平成15年4月1日  
 所 在 地 日野郡溝口町溝口647番地  
 電 話 0859-62-0711



## 新規設立団体の紹介

### ◎三朝町シルバー人材センター

設 立 平成15年4月14日  
 会 員 数 28名 (設立当初)



### ◎気高町シルバー人材センター

設 立 平成15年7月10日  
 会 員 数 28名 (設立当初)



### ◎職員異動の紹介◎

新任 七月一日付け  
 シニアワークプログラム事業  
 業務担当 (介護講習) 石崎 純一  
 退職 三月三十一日付け  
 シニアワークプログラム事業  
 業務担当 (介護講習) 澤本 要

新しい事務所の所在地  
 鳥取県米子市角盤町一丁目七十六番地  
 NTT西日本 米子支店ビル二階



連合会では、これまでの米子市錦町の事務所が狭くなり、又老朽化が進んでおり先の西部地震により土台に亀裂が生じている等の理由から左記の通り事務所を移転しました。  
 今後新しい事務所業務を行いますので、気軽にお出かけください。

### 連合会事務所の移転



## 新しい理事さん及び監事さんの紹介

新しい理事さん、監事さんが総会で選出されました。これから2年間鳥取県シルバー人材センター連合会の理事、監事として活躍を期待します。

(15年6月13日改選)

役職名	氏名	所属	備考
理事	川口 貞良	(社)米子広域シルバー人材センター理事長	会長
理事	歳岡 輝巳	(社)鳥取市シルバー人材センター理事長	副会長
理事	福井 春光	(社)倉吉市シルバー人材センター理事長	副会長
理事	森 皎	(社)鳥取県シルバー人材センター連合会事務局長	常務理事
理事	高野 邦親	淀江町シルバー人材センター理事長	
理事	宇野 治巳	(社)米子広域シルバー人材センター事務局長	
理事	水根 富士雄	鳥取県商工会連合会専務理事	
理事	中川 正昭	(社)南部広域シルバー人材センター理事長	
理事	石谷 文一	(社)智頭町シルバー人材センター理事長	
理事	竹歳 邦安	大栄町シルバー人材センター理事長	
理事	足立 郁馬	(社)境港市シルバー人材センター理事長	
理事	太田 弘道	(社)岩美町シルバー人材センター理事長	
理事	有田 益	郡家町シルバー人材センター理事長	
理事	村上 寿一	(社)鳥取市シルバー人材センター事務局長	
監事	松井 祐三	(社)境港市シルバー人材センター事務局長	
監事	中林 正樹	(社)倉吉市シルバー人材センター事務局長	

## 鳥取県シルバー人材センター連合事業実績推移表

項目 年度	会員数 (人)	受注件数 (件)	契約金額 (千円)	就業実人員 (人)	就業率 (%)
平成10年度	3,699	21,569	871,481	2,753	74.4
11年度	3,884	23,848	999,728	3,097	79.7
12年度	4,117	25,937	1,118,958	3,261	79.2
13年度	4,525	28,989	1,201,037	3,525	77.9
14年度	4,921	31,216	1,284,472	3,820	77.6

# (社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

名 称	〒	所在地	電 話	F A X	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0823	鳥取市幸町73	0857-22-0050	0857-22-0051	歳岡輝巳
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	川口貞良
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0864	倉吉市鍛冶町1-2971-2	0858-22-0870	0858-23-6101	福井春光
(社)境港市シルバー人材センター	684-0043	境港市竹内町40	0859-45-6661	0859-45-6583	足立郁馬
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡西伯町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	中川正昭
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	石谷文一
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2511	太田弘道
用瀬町シルバー人材センター	689-1211	八頭郡用瀬町別府96-2	0858-87-2302	0858-87-2369	和島利明
淀江町シルバー人材センター	689-3402	西伯郡淀江町淀江676-2	0859-56-6200	0859-56-6205	高野邦親
北条町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-4527	0858-36-5056	山本義憲
中山町シルバー人材センター	689-3111	西伯郡中山町赤坂766-1	0858-49-3012	0858-49-3013	明里好弘
郡家町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡郡家町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	有田 益
国府町シルバー人材センター	680-0142	岩美郡国府町麻生4-2	0857-22-1880	0857-22-1889	山吹栄市
江府町シルバー人材センター	689-4403	日野郡江府町久連7-1	0859-75-2942	0859-75-3900	仲嶋勝利
東伯町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡東伯町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1001	米田義人
大栄町シルバー人材センター	689-2205	東伯郡大栄町瀬戸36-2	0858-37-4522	0858-37-4532	竹歳邦安
羽合町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡羽合町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	磯江末夫
赤碕町シルバー人材センター	689-2501	東伯郡赤碕町赤碕1113-2	0858-55-7633	0858-55-1137	足立慎夫
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0338	0859-74-0338	谷本忠光
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山 357	0859-82-0223	0859-82-1027	青戸建一郎
大山町高齢者能力活用人材センター	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-4787	森田 潔
東郷町シルバー人材センター	689-0713	東伯郡東郷町旭83	0858-32-0828	0858-32-0834	中村和美
名和町シルバー人材センター	689-3211	西伯郡名和町御来屋467	0859-54-6077	0859-54-6077	湊 勝利
溝口町シルバー人材センター	689-4233	日野郡溝口町二部2825	0859-63-0495	0859-63-0496	木村 治

## お願い

### 投稿募集

俳句、短歌、川柳、会員の声

俳句、短歌、川柳は二句(首)まで

投稿ご希望の方は左記までご連絡をお願いいたします。

米子市角盤町一丁目七六

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

郵便番号 六八三〇八二二

電話番号 (〇八五九) 三七二二五三二

FAX番号 (〇八五九) 三七二二五三七

## あとがき

今回も、関係各位の御協力のお陰で第九号が発行できました。ご寄稿いただいた皆様に心から御礼申し上げます。これからも紙面の充実に向けてまいりますので、一層の御協力ご愛読いただきますようお願い申し上げます。

## 会報 鳥取 第9号

平成15年8月1日 発行

発行：社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地

電話：0859-37-2531

FAX：0859-37-2537

印刷：東京印刷株式会社 鳥取県米子市南三柳929

電話：0859-29-2311